

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2017~2018年度 No.219

4月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：L T



3月 (ユースリーダー活動報告) 例会

2017~2018年度 主題
 国際会長：(IP) Henry J Grindheim (ノールウェイ)
 「ともに、光の中を歩もう」
 アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事：(RD) 栗本 治郎(熱海)
 「広げよう ワイズの仲間」
 北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)
 「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう」

クラブ役員 事務局
 会長：田村 修也
 副会長：村田 榮
 河野 順子
 書記：内海 研治
 会計：村田・鈴木
 担当主事：内海 研治
 ブリテン：田村・村田

3月例会データー(出席率：100%)
 在籍者 6名
 例会出席者 5名 メネット 2名
 ゲスト：

今月の聖句
 イエス・キリストのことを思い
 起こしなさい。この方は、ダビ
 デの子孫で、死者の中から復活
 されたのです。

テモテ第IIの手紙2章8節

4月 Happy Birthday
 4/16 内海 研治メン

子育て奮闘記第2談

鈴木保江

皆様にはご無沙汰しております。最近、私は半世紀の年月を得ておばさま達の仲間入りができました。仕事もだんだん辛くなってきましたが、気力で夜勤もがんばっています。子どものこと仕事のこと両親が2人ともほぼ同時期認知症となり、なかなかわいずの活動に時間がとれなくなってしまいました。自分の中では一番楽しみにしている活動なんです。そんな訳で話題がないので、日頃の子育てについて次々と日記帳のように赤裸々告白をしていきます。たぶん過去にも何度か家族や子どもの話をしたかと思いますが、思いつきで書いていくのでとりとめがないかもしれません。日々の生活の中で起る様々な出来事から今の子ども達のが理解出来るように学習していきます。また、わいずでの活動に参加できなくてもわいずでの存在を残して置きたいとも考えています。

では、早速、子どもの成長を何で感じるか？上の子がやっと中学生になったとおもっていましたが、この春中学二年生になりました。来年には立志式ですがいまだに、「ママ、アイス食べていい？アイス買ってきて？」など小学生でもできる判断を訪ねてきます。まわりは、お小遣いをもらってコンビニに行ったり、友達の家に遊びに行ったり、どんどん自立しているのに、うちの子はいつまでたっても大人にならないなあ、甘やかな、親ばかか。などどうしても他の子と比べてしまっている自分がいます。人と比べても仕方がないと思いつつも甘いですね。しかし、皆さんご存じですか？私の足が小さいことを。靴によっては23cmでも大きいときもあるくらいです。行動や精神面ではまだまだ子どもと思っていましたが、その息子が私の足のサイズを超えたのです。これにはさすがの私も大人になったねと言いました。子どもも「そう、大人だよ」と言います。そうか、大人になったんだと…、思うわけがないですね。声変わり、思春期、反抗期、人並みなことを子どもも私も今、受け止めております。主人は、一つずつできることが増えればいいんだよとマイペースです。思春期や反抗期は自分がしていたときは気がつかず子どもで初めて分かるそんなものですね。成長もきっとある日気がついていたら大人になっていたと思うことが成長を感じるものなんですね。答えにならないと思いますが、今は、そう思う今日この頃です。

荒井 浩元

日時：3月30日（金）18：00～20：30

場所：西那須野教会

参加者：田村会長、河野副会長、村田副会長

メネット：田村

スピーカー：橋本裕翼（もっちゃん）、須江卓矢（すっちー）、芳賀大輝（サン）、稲川聖也（とと）、大橋 理乃（さわー）

ゲスト：潘炯旭牧師ご夫妻、荒井スタッフ

合計：12名

3月例会では、今年度に全国のユースプログラムや通常活動に参加した那須YMCAのユースボランティアリーダーが報告を聞くリーダー活動報告例会となりました。今回の例会で報告をしたリーダーと報告内容を紹介いたします。

■出会いと体験森へリーダーズキャンプ

・稲川聖也（とと）

■北関東YMCAスキーリーダートレーニング・スキーキャンプ

・大橋 理乃（さわー）

■2018年度Yキッズ

・芳賀大輝（サン）

■リーダー生活4年間の総括とこれからのYMCA活動への抱負や思い

・橋本裕翼（もっちゃん）

・須江卓矢（すっちー）

まず、出会いと体験森へリーダーズキャンプでは、人を育てるキャンプに携わる5つの団体（YMCA、YWCA、日本キャンプ協会、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟）が集まり、パイオニアリング、野外炊飯、テント生活、キャンプファイヤーを通して、キャンプ生活を過ごしました。そこでは、リーダーがYMCA以外の団体の方々と関わり、リーダー自信の視野を広げるきっかけとなりました。

今シーズンのスキーキャンプ2本に参加したリーダーは、北関東YMCAスキーリーダートレーニングに参加してスキーキャンプを挑みました。リーダーたちはとちぎYMCA以外のリーダー・スタッフと関わり、様々な刺激を受けながらスキー指導技術を学んでいきました。沢山の仲間が集うリーダートレーニングは、リーダーたちの原動力でもあります。そしてスキーキャンプは子どもたちと雪の大自然の中過ごすプログラムにおいて、子どもたちとともにリーダーが成長していく姿も見られていきました。

今年度のYキッズは、全8回でハイキングや川遊び、

お菓子づくりなど様々なプログラムを展開していきま
した。その中で那須YMCAのリーダーたちは子ども
たちの豊かな体験や成長のために毎週木曜日にリーダ
ー会を開き、準備を進めていきました。また活動当日
では、子どもの笑顔に励まされ、リーダーたちの姿も
たくましくなっていました。

最後に、報告をしたすっちーリーダーともっちゃん
リーダーは、大学生活4年目を終えたところで、リー
ダー生活の総括とYMCAに対する思いを発表しまし
た。彼らの発表は、4年間の成長を存分に表現されて
おり、例会参加者全員が感動してしまうような発表で
した。

今回のリーダー報告は、それぞれのプログラムで体
験したことや学んだことを熱く語り、リーダーたち
にとってYMCAユースボランティアリーダーとしての
再確認の会となったのではないかと思います。この度
はこのような報告の機会を頂きどうもありがとうございました。

今後の予定

・4月役員会（第2例会）

日時：4月6日（金）午後6時30分～
場所：ココス西那須野乃木店
内容：3月例会（ユースリーダーによる報告会）、4
月例会（植樹例会）、4月号ブリテンの発行等。

・4月第1例会（植樹例会）

日時：4月28日（土）午前10時
場所：那須街道赤松美林駐車場
内容：植樹・那須疎水の散策

・第3回北東部評議会

日時：4月21日（金）午後1時～
場所：とちぎYMCA

・5月役員会（第2例会）

日時：5月2日（水）午後6時30分～
場所：ココス西那須野乃木店
内容：5月例会（YMCA報告会）、6月例会、次
年度計画、5月号ブリテンの発行等。

4月第2例会（役員会）報告

日 時：4月6日（金）午後6時30分～
場 所：ココス西那須野乃木店
出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、鈴木、

田村メネット、塩澤総主事、藤生主事、平山主事、
協議事項

1. 3月（リーダー活動報告）例会についての反省
リーダーの話は良かった。1、2年生のリーダー報
告がありこれからのリーダーとのかかわりに期待する。

2. 4月例会について

春の植樹例会、4月28日（土）那須街道赤松林。福
島（石川町）からの参加者がある。

3. 5月例会について

5月25日（金）午後6時30分～、会場は西那須野
教会、塩澤総主事を囲んで那須YMCA活動報告・将
来計画、その他。

4. 5月ブリテン発行について

いつも通り早い目をお願いする。

5. 5月役員会（第2例会）の開催日について

5月2日（水）午後6時30分～、ココス西那須野乃
木店。次年度計画について検討する。

6. 2018年度那須YMCAの活動について塩澤総
主事よりの報告。那須ワイズの担当主事は1年間藤生
主事。活動担当は、平山雄大主事。

その他

- ・北東部第3回評議会に出席の件、村田が出席。
- ・アジア学院入学式、4月14日。
- ・ロースターの原稿の確認。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第60回）

会長 田村修也

三島通庸、子爵、三嶋正五位殿、内務局長、
警視總監。倒幕運動で活躍後、参事、文部大丞を経て
酒田県令、山県県令、福島県令、栃木県令として、道
路建設、治水事業に貢献しました。三島通庸を私たち
は三島つうようと呼んでいました。私たちの住む旧那
須野半分は、昭和30年に町村合併になるまでは狩野
村でした。明治13年、印南さん矢板さんが那須開墾
社を創設する同じ年に、約1千町歩の国有地を借り下
げして肇耕社（後の三島農場）を創設して開墾に着手
しました。名義は長男の三島弥太郎さんでしたが、実
質的な経営者でした。三島開墾創設にあたっては印南
さんも矢板さんも株主として参加していました。三島
村は明治22年の町村制の施行で石林村と合併して狩
野村になり、那須開墾は初め那須村と称し、次いで西
那須野村になりました。私は旧三島村地内に住んでい
ましたので、狩野村立三島小学校、三島中学校出身で
す。そのような事情で、周りの人たちが三島通庸を音
読みでつうよう、つうようと言っているの、長じて
みちつねと知るまではつうようさんと呼んでいました。

余談になりますが、三島通庸、三島弥太郎（徳富蘆花の小説「不如帰」の川島武夫のモデル、18歳で官費正として渡米、日銀総裁、クリスチャン）と続き、3代目の三島通陽（みちはる、通陽さんはボーイスカウト運動を日本に広めた方）の時代、農場経営が困難となったので、三島農場経営再建のため懇望されて、岐阜高等農林教授を辞任して農場管理者となった西那須野教会名誉長老の小西正之助は、小作農の自作農化を終えた後、北海道大学農場時代の教え子達と共に、三井系列のインドネシア農場の囑託となり、水稻栽培等の指導に従事しています。戦後帰国し、同行の教え子達と共に一区町に開拓に入り、西那須野教会の野崎集会として伝道と農業指導に当たりました。また那須周辺地域のホーリネス伝道の草分けとなった澤田末吉牧師を北海道から招いて、開拓者たちへの伝道に尽すなどの小西正之助の足跡は、また別の機会に紹介したいと思います。

三条実美（さねとみ）、太政大臣、公爵、三条相国殿下。七卿落ちの一人。大政奉還により明治元年には関東大監察使として江戸に行って徳川氏の処分を行っています。明治18年3月、那須疏水開鑿を許可して費額金十万円下附を決済しました。私は現役で矢板林業事務所補佐の時代に、ある昼休みに庁舎のすぐ近くにある矢板武さんの記念館（歴代矢板家の居宅）に行きました。門前の解説板を呼んでいますと、中から矢板玄さんが出てきて、「興味があるならいいものを見せるから入りなさい」と言うのでついて行きました。奥座敷の床の間の前で、これは全国地方長官会議開催に当って東北各県から議員を送るように達しているのだがなかなか来ないので、三条実美や大久保利通、勝海舟、山県有朋、大鳥圭介等が逗留して返事をまわっているのだが、それでも返事が来ない。そこへ更に催促のために西郷隆盛が逗留先の矢板邸に来たということでした。そして、和綴じの本を見せてくれました。その裏表紙には加治屋村西郷吉之助と墨書されてありました。また三条実美がいつも持参していたという木の台付きの枕[三条実美昼寝の枕]もを見せてくれ、その底はくり抜かれていて公印を入れて持ち歩いていたものだとして教えてくれました。さらに勝海舟は自分たちが逗留した証に「聚塵亭」と揮毫した扁額を見せてくれました。矢板家は元々坂巻家でしたが、勝海舟がこの際に矢板姓に改姓させたとのこと。当時箒川は東北諸藩との境界線の状態で、矢板の地は重要な位置にあったと思われます。今回改めて資料を読み直して、この時の出来事が、那須野が原開拓、那須疏水開鑿と切っても切れない深い関係があることを知らされました。これは1990年8月3日に矢板玄（元三菱化

工機顧問）さんから頂いた印南正一著「聚塵亭異聞」で確認しました。後日全文を紹介したいと思っています。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
理事長・園長 福本光夫

ご入園・ご進級おめでとうございます。

今年は園庭の花木の開花が早く、プラムの白い花は終え、ソメイヨシノ花も散り始め、緑の葉が見えてきました。例年とは違う自然環境ですが、新入・進級の子供達をお迎えすることができて、スタッフ一同大変嬉しく思います。私たちはお子様と会えること心待ちに準備して参りました。宜しく願いいたします。

今年度から幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領が改訂されました。3歳から5歳の部分の表現は違いますが同じような内容になっています。また、小・中学校学習要領も改訂され、小学校学習指導要領においては、幼児教育を基礎としてという文言が各教科に入りました。つまり、昨年度までの幼稚園教育要領もそうでしたが、より明確に幼児教育が小学校に入学する為の準備教育ではなく、幼児教育がスタートであり、幼・小間の教育の連続性(幼稚園のアプローチプログラム、小学校のスタートプログラム)が大切にされています。しかし、他国に目を向けてみると、幼小の連携は、現実的にはなかなか難しく、共に育ち合うインクルーシブ教育先進国の1つであるニュージーランドでも、幼児教育のナショナルカリキュラム「テファリキ」が昨年改定されたところですが、課題であるとの事でした。

今回の新幼稚園教育要領の1つのポイントは、これからの正解の無い時代を生きる子どもたちにとって、非認知能力(スキル)を身につけることが大切であることです。在園生の保護者の皆様には大切なことなので繰り返しお伝えしていますが、後10年から20年で今ある仕事の47%が機械化されるリスクがある(ジミーオズボーン)、第4次産業革命等の予測があり、その時その時の適解を見つけて生きる事が肝要と考えられています。これからは、一般的な学力はもちろん、折れない心(レジリエンス)、感情や行動をコントロールする自己統制力、価値観の違う人とやり遂げる力等に代表される非認知能力を身につけることが大切です。そのベースとなるのが幼児期の遊びです。私がかつどの頃は近所の異年齢の友達と遊びこむ環境がありました。しかし、今はその環境が地域にはないので幼稚園で担う比重が増えてきました。

それに伴い本園の保育内容もここ数年をかけて見直しています。低年齢児から遊びに没頭出来るような時間を増やしています。日々の積み重ねを重視するために行事の見直しも図っています。例えば、今年度は4年保育のおじいさんおばあさんありがとうの会は実施しません。ここ数年の運動会も準備に時間をかけず、当日も短時間で行ってきましたが、今年度から年少組運動会は実施しない予定です。年中・長組の運動会の内容も変えていきます。一方、これから求められる事として、時間は増えませんが、新たに内容を変えたものもあります。昨年度よりコンピューター遊びは、新たに27台のiPadを用意し、年長組の子どもたちは遊びながらプログラミング思考を身につける内容になりました。また、今年度からは、体育遊びの月1回分を、東京から専門講師を招いてダンスに替えます。本園教諭もこのために、3学期に1回3時間のレッスンを計3回受けて準備して参りました。かつてないスピードで社会状況が激変するなかで、子どもたちの将来を見据えた保育を心がけますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、3年前に認定こども園の認可を返上しましたが、保護者負担軽減とスタッフの処遇改善の為に、来年度幼稚園型認定こども園化に向けて準備し、将来はこひつじ保育園と合併し、再度幼保連携型認定こども園を志向していきたいと考えます。

(しらゆり 2018. 47 加筆修正)

**2017-2018年度
次期クラブ会長・次期部役員研修会**

河野順子

期日：2018年3月3日（土）～4日（日）

場所：日本YMCA同盟 国際青少年センター東山荘

出席者：89名

上記に出席できる機会を頂き、満足感と責任を感じて帰宅したことについて、報告をする。ワイズの仲間として席を汚している期間は長いだけ、多くの顔見知りの方々に久しぶりに会え、挨拶ができたことは嬉しかった。プログラムに沿って進行された。

開会式

開会点鐘に始まり、各役員の紹介とあいさつがありオリエンテーションがあった。

研修 I

- (1) 東日本区の現況
- (2) アジア太平洋エリア・国際の現況
- (3) YMCA 理解と支援報告
- (4) ワイズ・YMCA パートナーシップ

この項では、俯瞰的見方で客観視する報告を受け、田

中博之氏（次期アジア太平洋地域会長・次期国際議員）より国際協会・アジア太平洋地域の目的の確認が示され、以下5つのモットーが表わされた

5つのI

- Idealism 理想をもつこと
- Interest 関心をもつこと
- Initiative 率先すること
- Industry 労を厭わないこと
- Internationality 国際的な視野をもつこと

ワイズメンズクラブ国際協会には64か国、1400クラブ、24000名が所属しており、会員数はインド、ヨーロッパ、韓国、アジア太平洋の順の数であるという。

次期アジア太平洋地域会長として

「主題」Action

「スローガン」With Pride and Pleasure（誇りと喜びをもて）

「ビジョン2022年」、「2022年に向けて」等、ワイズメンの増員、組織拡大、YMCAとのコラボ、地域社会への理解とワイズの独自性、ワイズメンバーの国際プログラムに対する認識など課題も含めて学ぶ。次に「YMCAとワイズ — パートナーシップの在り方（YMCAにとってのワイズ？ワイズにとってのYMCA?）」について山田公平氏（国際YMCAリエゾン事業主任）から講話があった。

かつてYMCAが独壇場？であったかと思われる青少年や児童への生活支援、スポーツ支援は、今や他民間によるNPOやNGO等での活動が活発に行われている。YMCAの未来は地域のニーズにどれだけ応えられるかである。積極的に活動し、それが地域の力となり得るならば自ずと認知力は高くなる。今、米国のYMCAはこれを実践し効を奏している。自ずと寄付金も多くなりRed Crossを抜いて一番の寄付を受けている。そこにワイズは、どう協力体制がとれるかである。日本における旧来のワイズの形、仲良し同士がその内輪だけで慢心しては共同体制はとれず、齟齬が生じる。2022年をワイズはどう迎えたいか？YMCAの変化しつつある現状にワイズも変化していく必要があるのではないかという切迫した講話であった。社会変化の激しい現在、やはりYMCAもワイズも地域社会の理解がなければ生き残れないと強く感じた。

研修II

- (1) 次期理事方針
- (2) 地域奉仕・YMCA サービス事業方針
- (3) 会員増強事業方針
- (4) 国際・交流事業方針

(5) ユース事業方針

次期理事は 宮内友弥 氏（東京武蔵野多摩クラブ）でお世話になる方。

2018～19年東日本区方針として

理事主題 「なせば成る」 No challenge, No fruit

副題 「ワイズが何をしてくれるかでなく、あなたがワイズに対して何ができるかを考えて実行しよう」 Ask not what Y's do for you, Ask. what you can do for Y's.

基本方針、

(1) リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織にメンバーを支援して、目標達成に導く奉仕型のリーダーを目指す（サーバントリーダーシップの実践）

(2) キリストの愛の精神とYMCAサービスはワイズの拠り所、アイデンティティ。決して信仰を強制するものではない。

(3) 理念と改革 ワイズの理念は、いかに時代が変化しようとも決して変わることはない。しかし社会変化の中でワイズの働きのある方、活動方法は絶えず問い直され、新しい課題に取り組む必要がある。

取り組むべき課題 組織の在り方検討、Extention、YMCAとの関係強化、国際・アジアへの関与、外部への広報活動、東日本区定款改定の仕上げと対応が宮内氏の講話であり、「サーバントリーダーシップ」について詳しい説明があった。つまりメンバー自身が能動的活動を行うことを強調された。

以下、各事業活動方針が説明されたが、いくつかピックアップして記したい。

東日本区地域奉仕・Y サービス事業主任方針では、特に「活動を記録して広く発信しよう」ということで、この後フェースブック（既使用者と未使用者2グループ）の活用の仕方に時間を割いた。

国際・交流事業方針では、使用済み切手の収集について詳しい説明があった。かなり厳しく、切手は2～3ミリの辺できれいに切り取ることのようなのだ。

各役員の方々は、取りまとめに多くの時間と労力を費やしておられることを考えると、決められた約束事は期日を守り、お手間を取らせないことを肝に銘じたしだいである。

「部長を困んで」は夕食後、北東部と北関東が合体でそれぞれの抱えている課題を持ち寄って話し合われた。「会費の件」、「会員の減少の件」、「ワイズやYMCAと宗教の密着度による会員増強を阻むかも」、「ワイズとYMCAの関係性」等々、皆さんアルコールが入っていながらも非常に真剣な話し合いであることに充実感を持つことができた。また、活発な活動のでき

ている会員の多いクラブでは、潤沢な会費や出費があるということを知ったが、地域格差の否めないことも知った。人口・経済・価値観等、課題はある。が、何とかこのワイズの高適なアイデンティティを私の所属しているこのローカル地域でも根付かせたいと考えながら、間近に富士山を仰ぎ、梅の花の群集を観てまいりました。この厚い思いをいつまで持続できるかとの不安を半分抱えて帰路に向かいました。研修の機会を頂きありがとうございました。

YMCAだより

【「揚がれ！希望の凧2018」開催いたしました！】東日本大震災から7年、「震災を語り継いでいく」「被災地の方々を思い、共に考える」ことを願って、鬼怒グリーンパークにて「揚がれ！希望の凧2018」を開催しました。今年も「下野宮凧の会」の方にもご協力をいただき、凧の作り方、揚げ方などを指導してもらい、凧揚げを行いました。2時46分、地震発生時刻に合わせて黙祷を捧げました。ガザの空でも凧が揚



げられました。宇都宮会場80名、足利会場70名
募金額 10,815円
(仙台YMCAに送金します)。

【とちぎYMCA・那須YMCAの4月の予定】

- ・4/2（月）とちぎYMCA 職員就業礼拝@トライ東
- ・4/6（土）とちぎYMCA 職員歓送迎会@さくらんぼ幼稚園体育館
- ・4/14（土）サタデークラブ@ふれあいの丘
- ・4/21（土）サタデークラブ@ふれあいの丘
- ・4/28（土）サタデークラブ@長峰公園
- ・那須YMCA英語クラス：4/9（月）より新年度開始
- ・西那須野幼稚園運動あそび：4/12（木）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園英語あそび：4/13（金）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園サタデークラブ：4/14（土）新年度開始

ユースリーダーのつぶやきコーナー

今月はお休みです。

2018年度

那須ワイズ4月植樹例会のご案内

2011年3月11日の東日本大震災から7年目を迎えます。風化させない、忘れないで、更なる復興を祈り続けましょう。防災のため地球温暖化防止対策のために植林が進められています。

あなたの手で 緑を育てませんか

4月恒例の植樹例会を下記により実施いたしますので、お誘い合わせの上ご出席下さるようご案内いたします。小雨決行ですが、晴天になるように今からお祈り下さい。

1. 月日 2018年4月28日(土曜日) 現地集合(那須街道赤松林入口の駐車場に10時までにお集り下さい)
(植樹等実施予定地は2017年秋に実施した所の隣接地付近です)
2. 行先 那須街道「赤松美林」 塩那森林管理署指定植林地
3. 内容 植樹等・歩道清掃と那須野が原開拓・那須疏水史跡巡り
4. 行程予定

タイムスケジュール	内容
10:00	「那須街道赤松美林」着
10:30	赤松苗木の植え付け等
12:00	昼食・赤松美林周辺散策と歩道清掃(自由参加)
13:00	那須野が原開拓と那須疏水史跡探訪(自由参加)
14:00	現地解散

5. 費用 必要なものは各自負担
6. 装備 個人装備:雨具、手袋(軍手)、タオルなど
7. お弁当、飲み物、おやつ等はお忘れなく
8. その他 必要と思うもの

9. 参加者は全員保険加入をいたします

10. 塩那森林管理署のスタッフの皆様には今回も大変お世話になります。苗木・唐鍬等用具は森林管理署で準備して下さいます。

※那須ワイズメンズクラブ会長田村修也 担当田村修也 ※全員保険に加入いたしますので、ご参加の方は田村(090-5545-6763)宛、4月23日(月)までにご連絡お願いいたします。